

京都教区時報

Home Page http://www.kyoto.catholic.jp 4345

1頁～9頁 司教年頭書簡 信 仰 パート2

10頁～11頁 2012年 大塚司教の主要予定

発行 京都司教区
責任者 村上透磨
京都市中京区河原町通三条上の
京都教区広報委員会
TEL 075-211-3468
FAX 075-211-4345点訳版「京都教区時報」(無料)
ご希望の方は点訳ネット「レジナ」代表嶽崎(たけざき)裕子さんまでお申込みください。
TEL・FAX 0794-31-8601

2012年 司教年頭書簡

信
仰
パ
ー
ト
2

京都司教 十パウロ大塚喜直

～ 信仰の恵みを生きよう ～

『ロザリオの祈り』

京都教区は昨年2011年「信仰」をテーマにして、キリスト者が神からの呼びかけに対して「本物の信仰」によって応える「本物の信者」になることを目指し、各自の信仰を内面から問い直しました。今年は、信仰をあかしする生活を深めるために、その一つの方法として、『ロザリオの祈り』を参考にしたいと思います。

『ロザリオの祈り』は、福音のメッセージ全体の深みを含んでいます。ちなみに今年は、ヨハネ・パウロ二世が2002年10月16日に発布した使徒的書簡『おとめマリアのロザリオ』の10周年にあたります。教皇はこの中で、洗礼と受難の間のキリストの公生活の秘義を默想する「光の神秘」を加えることを提唱されました。現行の『ロザリオの祈り』は、「喜びの神秘」(受肉の神秘)を月曜日・土曜日に、「光の神秘」を木曜日に、「苦しみの神秘」

(キリストの受難)を火曜日・金曜日に、「榮えの神秘」(復活の栄光)を日曜日・水曜日の順序で唱えます。



昨年の年頭書簡で11の質問の形で提示したのは、「信仰のセンス」の11の働きでした。今年は、この信仰のセンスと『ロザリオの祈り』の四つの神秘の各五つの默想を関連させてみました。『ロザリオの祈り』を唱え、一つひとつ、「聖母の取り次ぎの願い」を默想しながら、信仰をよりいっそう具体的に生きることをイメージできたらと思います。

『ロザリオの祈り』は個人の観想の祈りであるだけでなく、家族、社会、国、教会、そして全人類に起こるすべての出来事の中で祈りを必要とする隣人を、マリアとともに心に収めることができます。だからこそ、『ロザリオの祈り』はマリアとともに、苦しむ人々の祈り』は特に、東日本大震災と福島原子力発電所事故の被災者と連帯し、その復興と支援のために捧げましょう。

1
2012

「わたしは信じた。

それで、わたしは語った」

(IIコリント4・13)

1. 信仰の体験・キリストとの出会いを告げましょう

〔信仰の人格的センス〕

「喜びの神秘」は、キリストの受肉の出来事から発する「喜び」のうちに、イエスの隠れた生活を黙想します。私たちには福音書の中で、この人となられたキリストに出会います。これは、私たちが周囲の人との出会いの中で、キリストとの出会いを再現するためです。



神の呼びかけに「はい」と応えて、信仰をあかししよう

マリア、神のお告げを受ける

「喜びの神秘 第1の默想」

マリアは信仰によって、「わたしは、主のはしためです。お言葉どおり、この身になりますように」と天使に答え、お告げを信じました。私たちも、口で信仰を告白する公のあかしをして、神の望みを生きようとする決意を表明します。これが信仰者自身の福音化の原点です。

2. 祈り・みことば・新しい熱意

〔信仰の発見的センス〕

神の御子を迎える心で、主をあかししよう

マリア、イエスを生む
「喜びの神秘 第3の默想」

信仰のセンスは、神のみ旨を発見する感覚です。私たちが心の準備をして、イエスを真剣に迎える時、主はその思いを打ち明けてくださいます。祈りの中であるいはみことばを深く味わい、キリストの現存にじかに触れ、そこから湧いてくる感動こそ本物です。本物なら、人々も伝わっていくはずです。各自、実際にキリストに出会った体験に基づいて信仰をあかしすることを、心がけましょう。

イエス、天に上げられる 「榮えの神秘 第2の默想」

「榮えの神秘」は、キリストの受難の闇を通り抜けて、復活と昇天におけるキリストの栄光に心をむけます。私たちは主の復活の証人です。キリストについての観念的な言葉ではなく、復活されたキ

リストが今も私の中で、人々の中で、あるいはいろいろな出来事の中で、現に生きておられるという実感を味わい、感動をもって伝えましょう。復活信仰のあかしは、それ 자체が信仰の行為です。

ヨセフとマリアは十二歳のイエスを神殿で見出した時、イエスのことばの意味が解りませんでした（ルカ2・50）。信仰のセンスは、「見えないものを見るとき」に使う想像力です。この想像力によつて、しるし（象徴）は認識されて、媒介となります。この靈的な感覚は使わないと鈍くなり、信仰生活がマンネリ化します。「新しい福音宣教」で言われる「新しい熱意（パッション）」でもって、日々の生活の中で主イエスを探し求めよう

マリア、イエスを見いだす

「喜びの神秘 第5の黙想」

日々の生活の中で主イエスを探し求めよう



被災地で新たな命が生まれた

常生活の中で主を探し求め、神の呼びかけに挑戦していきましょう。

**3. 出来事の中で、主への信頼を深める
〔信仰の認識的センス〕**

イエス、カナの婚禮で最初のしるしを行つ
〔光の神秘 第2の黙想〕

人間が、愛に満ちた人格的なつながりに基づいて、神秘である神を「知る」ことができる。信仰のセンスのおかげです。神について抱く私の思いは、往往にして概念的に明瞭な表現が可能な知識というよりも、直観的・非言語的な内容です。したがつて、他人に信仰を語る場合、自らの生活を語ることによって最もよく伝わります。

「ぶどう酒が足りない」とマリアは気づきました。周囲の出来事を信仰と愛の精神によって見つめる時、神のみ旨を明かすキリストに出会うことができます。マリアは御子を信頼し、従順の模範を示しました。私たちも、この世のすべての物事、出来事に意味があると信じるとき、私たちの生活自体が救いをもたらすキリストの出来事の一部になります。イエスに信頼し、日常の場で救いの道具になります。



**4. キリストによって、キリストとともに、
キリストのうちに**

〔信仰のキリスト論的センス〕

信仰のセンスの究極の対象は、三位一体の神です。信仰のセンスの第一の規範（物差し）はイエス・キリストです。『ロザリオの祈り』は、核心においてはキリストを中心とした祈りです。

イエスの招きに応え、
心から悔い改めて、福音をあかししよう

イエス、神の国到来を告げ、人々を回心に招く
「光の神秘 第3の默想」

イエスは福音を告げましたが、私たちにとって福音を信じるとは、イエス・キリストを受け入れることです。心から悔い改めると、考え方を改め、頭を切り換えること、心を入れ替え、生きる方向を転換することです。私たちが心とからだ全体でキリストの福音を受け入れるところが、あかしの第一歩です。



「キリストに倣う (Imitatio Christi)」とは、新しい自己をキリストに見立て、生活の中で具体的実践的にキリストを模倣することです。

イエス、復活する

〔榮えの神秘 第1の默想〕

主とともに死んで、その復活にも
与る恵みを祈ろう

5. 受ける秘跡より、生きる秘跡へ

〔信仰の秘跡的センス〕



聖母の小さな学校 生徒作

「わたしは、キリストとその復活の力を知り、その苦しみにあづかって、その死の姿にあやかりながら、何とかして死者の中からの復活に達したいのです」(フィリピ3・10-11)。パウロは復活の恵みに与るため、古い自己を捨て、新しい自己を生きることを目指しました。

7つの秘跡（洗礼・堅信・聖体・ゆるしの秘跡・婚姻・叙階・病者の油の秘跡）においては、それぞれ神の救いの恵みが現在化しています。秘跡を受けて終わるのではなく、その恵みを生きなければなりません。信仰のセンスは、秘跡の恵みを無駄にさせません。

洗礼の恵みに感謝し、聖靈に導かれて、神の子として生きよう

イエス、ヨルダン川で洗礼を受ける

「光の神秘 第1の黙想」

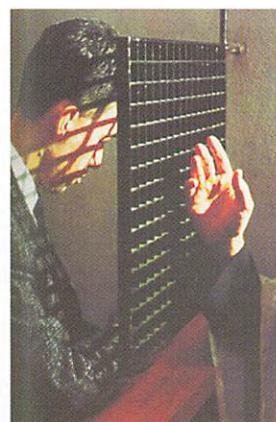
イエスは御父の愛をすべての人々に兄弟として示すために、洗礼者ヨハネから洗礼を受けられます。洗礼を受けたキリスト者は、「キリストの思い」(1コリント2・16)を持って、キリストの兄弟として、神の子として生きる有難さと喜びをすべての人々に告げましょう。

イエスがペトロにあわれみの目を向けられたことを思い、罪から立ちあがる恵みを祈ろう

イエス、むち打たれる

「苦しみの神秘 第2の黙想」

イエスは神の国到来を告げ、回心を呼びかけ、へりくだりと信頼をもつて自分に近づいてきたすべての人の罪をゆるしました。これこそ、教会が世の終わりまで託されたキリストのあわれみの業で



私たちも日々、自分の十字架を担って、主に従って行こう

イエス、十字架を担う

「苦しみの神秘 第4の黙想」

す。イエスを裏切ったペトロは、この世界で罪をゆるす権能を授かりました。キリスト者はゆるしの秘跡を受け、何度も罪から立ちあがる生き方を続けて、教会のゆるしの使命を世にあかしするのです。

6. 信仰と生活の一一致・奉仕と愛の実践

〔信仰の実践的センス〕

信仰の実践的センスとは、信仰のセンスの認識面と密接に関係し、「知識」と「行動」の深いつながりを意識させます。

信仰と生活の遊離に常に気をつける人は、個々の状況(難題)に信仰を愛の心で当てはめるからこそ、日常生活の場で「信仰が意味するもの」を知ることになります。それこそが「愛の実践を伴う信仰」(ガラテヤ5・6)です。愛こそが、愛の実践の義務を理解させるのです。



すべてを与えたされたイエスの
愛に日々ならい、すべてを捧げよう

イエス、最後の晩餐で聖体の秘跡を制定する
「光の神秘 第5の默想」

イエスはパンとぶどう酒を弟子たちに分け与えて、それらを神と人々に対する徹底的な愛と奉獻のしとなるご自分の「御体と御血」となさいました。私たちはミサに与る度に、御父の愛を受け、全ての人々が救われるという教会の確信を深め、かつ更新し、常に新たにされます。日々犠牲と奉仕の業に励み、神の愛こそいのちの支えであり、生きる勇気と力のみなもとであることを黙々とあかしするのです。

7. 救いの恵み・喜び・平和 〔信仰の救済的センス〕

信仰のセンスには、「救済的次元」があります。人生における救いの体験から来る信仰のセンスです。救いに関する知識は、苦しみや不安からの解放という救

いの経験によって意味を与えられ、再生の力となります。

悲しみの中にある人、貧しい人たちがリストに出会うように働くのです。



希望の家のバザー

救いの恵みがすべての人に
与えられるように働くこう

イエス、息を引き取る
「苦しみの神秘 第5の默想」

イエスの死は、神の愛をあかしするための奉獻でした。神の愛の啓示は、私の救いのためだけでなく、すべての人が幸せになるためのものです。私たちはできるだけ多くの人、特に苦しんでいる人、

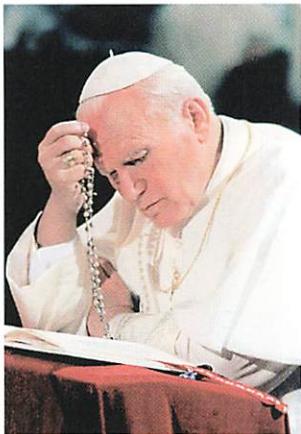
マリアとともに、キリストの復活を観想するキリスト者は、自分たちが何のために信仰を与えられ、何を信じているのかを知り、その喜びを体験します。この世で他者のために生き、社会を福音化する努力を続けるのは、生きることの希望の根拠がこの世界を超えたものにあるか



らです。永遠のいのちに希望をかける愛の生き方が私の喜びとなるように祈りましょう。

8. 希望・人生のリズム

〔信仰の統合的センス〕



「あなたの信仰は人生の物語となっていますか?」この質問には、各自が信仰によって自分の人生を振り返り、神への感謝と希望を確かなものとする意図があります。信仰の「統合的」センスは、過ぎ去と現在、信仰と個人のアイデンティティー、教義と生活、信仰と実践をつなぎます。罪と救いの人生の糸は、一つの物語で全体に織り込まれます。ヨハネ・

パウロ二世は、「ロザリオの祈りの単純な祈りは人生のリズムを刻む」と言われました。
 (1978年10月29日のお告げの祈り)

毎日の生活を神に奉獻しよう

マリア、イエスを捧げる

「喜びの神祕 第4の黙想」

「喜びの神祕」の最後の一一つの神祕は、喜びの雰囲気の中にも、すでにこれから起ころる悲劇的な出来事を前もって示します。神殿で聖別される幼子は「反対をうけるし」となり、母の心が剣で刺し貫かれるという預言も述べられます。

マリアは、犠牲と困難の中でも愛に生きる日々の生活に「アーメン」と応える信仰者の模範を示しました。私たちも毎日の生活を信仰によって捧げることで、神の救いの計画に参加することができるのです。

イエス、いばらの冠をかぶせられる
誤解や侮辱をおそれずに
信仰を生きよう

イエス、いばらの冠をかぶせられる
「苦しみの神祕 第3の黙想」

イエスはあらゆる誘惑と辱めにさらされながら、人間のあらゆる罪と戦います。それは、御父にこう言うためでした。「わたしの願いではなく、み心のままに行つてください」(ルカ22・42)。神不在の現代社会で、見えない神に希望を置く福音的価値観が無視されても、私たちはこれを選択していくのです。



9. 預言者のまなざし

〔信仰の批判的センス〕

キリスト者は、信仰による救済的知識のおかげで、明敏な判断能力が身に付き、神の愛に反するものを識別する直観的な感覚が養われていきます。これが、信仰のセンスの批判的次元で、預言者のまなざしに似ています。

主の変容を心に刻み、
イエスに聞き従って、あかししよう

「光の神秘 第4の黙想」

御父は弟子たちに「これに聞け」と命じ、御子は兄弟たちに「これに聞け」と命じ、御子の受難に立ち会う準備をさせます。私たちは、困難な時にこそ、栄光のキリストを通して働きかける聖霊の力を経験するのです。神の愛が拒まれる現代の迫害の状況で、イエスに従う道にしっかりと踏みとどまりましょう。

誘惑に陥らないように
目覚めて祈ろう

イエス、苦しみもだえる

「苦しみの神秘 第1の黙想」

キリストは御父のみ心の前で、大きな苦悩を体験します。キリスト者に対する現代の誘惑は、教会の外部からよりも信者の内側を通してやってきて、いつの間にかキリスト者自身が求める救いそのものが世俗化されはじめています。この世俗の誘惑に打ち勝つために、イエスとともに目覚めて祈りましょう。

10. 福音の芽生えを育む連帯・奉仕

〔信仰の共同体的センス〕

私たちは自分の信仰のセンスを確認するために、他のキリスト者の信仰のセンスの尺度に目を向けています。信仰の批判的センスは拡大され、教会共同体的センスとなります。

救いの訪れをたたえ、
喜び合いましょう

マリア、エリサベトを訪問する

「喜びの神秘 第2の黙想」

マリアの声と、その胎内のキリストがおられることによって、ヨハネは「喜びおどりました」(ルカ1・44)。キリストはその仲間と生きます。それは、他の多くの人々に救いの喜びを伝え、共に分かち合うためです。身の回りの福音の芽生えを信仰の仲間と探し、さらに大きくなるように協力しましょう。

救いを求めるすべての人が、
御子イエスのもとに導かれるよう、
働こう

マリア、すべての人の母となる

「榮えの神秘 第5の黙想」

神がくださる信仰の恵みから、あかしの使命を除くことはできません。信仰共同体はけっして個々人の単なるグループや集まりではなく、あくまでも宣教に派遣されるために、神からの恵みの場とし

て育てられていくものです。私の信仰のセンスが共同体の信仰のセンスに貢献できるのです。

11. 新しい福音宣教のための勇気

〔信仰の聖靈論的センス〕

キリストの靈による信仰のセンスは、私たちに神の國の完成のために働くより大きな自由への勇気と、より大きな責任を甘受させます。

聖靈に満たされて、

いつも勇気をもって救いの福音を宣べ伝える者になろう

聖靈、使徒たちにくだる

〔栄えの神秘 第3の默想〕

聖靈は使徒たちに、主イエス・キリストの教えを実行する意思と、それに伴う困難を耐える勇気を与えた。キリストの靈に仕えるものとして、神の愛のかかしの使命をうけた私たちも、救いの奉仕のために自分たちに与えられたカリスマ・賜物を発見しなければなりません。

そして、それらを教会共同体として開発

し、現代社会で効果的に役立つように、「新しい福音宣教」の「新しい表現と方法」を創り出していきましょう。

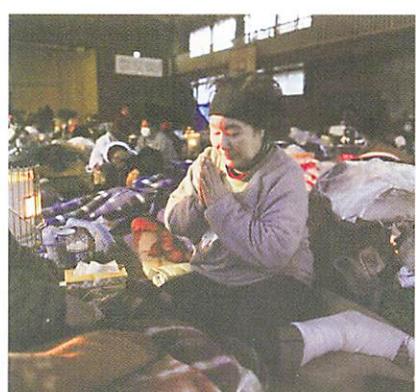
◆ 信仰と希望と愛



「信仰・希望・愛」という順序でいう対神徳がありますが、その通り信仰があつてはじめて真の希望がわき、完全な愛の実行に努めることができます。しかし、この逆もまたある程度まで真実です。

ベネディクト十六世教皇は、今年の10月から特別年「信仰年」を開催されます。「信仰年」は、第二バチカン公会議開幕50周年の2012年10月11日に始まり、2013年11月24日の主であるキリストの祭日に終わります。(教皇ベネディクト十六世自発教令『ボルタ・フィディイー』「信仰年」開催の告示) 2011年10月11日

今年、京都教区の私たちは、信仰のあえ、愛の勝利を待望しつつ、まことの愛を実践しようと積み重ねる人は、信仰へと導かれるのです。それは信仰の希望をかしをテーマに歩みながら、この信仰年の準備を始めましょう。



2012年1月1日

神の母聖マリアの祝日

5月

- 6日(日) 14:00 教区 新信者の集い(河原町)
 13日(日) 京都南部地区 山城ブロック
 司教訪問(田辺)
 15日(火) 14:00 (学法)滋賀学園 理事会(大津)
 16日(水) 19:30 教区 聖書講座
 17日(木) 10:30 教区 聖書講座
 18日(金) 10:00 近畿カトリック学校
 新任教職員研修会(河原町)
 19日(土) 10:30 マリア・モンテッソーリ幼稚園
 創立50周年式典(四日市)
 20日(日) 三重地区 合同堅信式
 21日(月) 14:00 (社福)カトリック京都司教区
 カリタス会 理事会
 22日(火) 14:00 (学法)京都学園・京都南学園
 理事会
 25日(金) 14:00 メリノール女学院 理事会
 27日(日) 14:00 京都南部地区 合同堅信式
 (河原町)

6月

- 3日(日) 京都北部地区 舞鶴ブロック
 司教訪問(西舞鶴)
 8日(金) 日本26聖人殉教者 列福150年
 記念ミサ(河原町)
 9日(土) 聖母保育園創立50周年
 記念ミサ・講演
 10日(日) 10:00 滋賀地区 合同堅信式(草津)
 17日(日) 京都南部地区 京丹ブロック
 司教訪問(桂)
 24日(日) 10:00 司教靈名ミサ(河原町)
 26日(火) 14:00 教区 幼稚園連盟 園長会
 28日(木)-29日(金)
 カトリック学校 校長教頭研修会
 教区カトリック学校連絡会(校長会)

7月

- 1日(日) 京都南部地区 洛北ブロック
 司教訪問(高野)
 2日(日) 14:00 女子カルメル修道会訪問(衣笠)
 8日(日) 三重地区 南部ブロック
 司教訪問(津)
 15日(日) 滋賀地区 湖東ブロック
 司教訪問(草津)
 16日(日) 男子カルメル会 宇治修道院
 創立50周年 感謝ミサ

- 29日(日) 10:00 故 使徒ヨハネ上田 巖神父
 1年祭 ミサ(豊岡教会)

8月

- 2日(木)-3日(金) 京都教区カトリック学校
 教職員修養会
 4日(土) 15:00 比叡山平和の祈り
 4日(土)-6日(月) 教区中学生広島巡礼
 12日(日) 10:00 教区一斉平和祈願ミサ(鈴鹿)
 25日(日) 10:00 教区 教会学校教師 研修会

9月

- 2日(日) 京都北部地区 宮津ブロック
 司教訪問(加悦)
 9日(日) 奈良地区 南部ブロック
 司教訪問(西大和)
 10日(日)-14日(金) 教区司祭 年の黙想
 16日(日) 京都南部地区 洛東ブロック
 司教訪問(山科)
 28日(金) 19:00 奈良地区 聖書講座(八木)
 29日(土) 10:00 奈良地区 聖書講座(奈良)
 30日(日) 京都教区国際ファミリーデー
 in滋賀地区(ひこね燐パレス)

10月

- 13日(土) 聖母の小さな学校スポーツフェスタ
 14日(日) アパレシーダの聖母 ミサ(上野)
 18日(木)-20日(土) 済州教区 聖母の夜 巡礼
 21日(日) 大和高田教会 創立60周年感謝ミサ

11月

- 4日(日) 14:00 衣笠墓苑 墓参
 11日(日) 14:00 八木教会・英語ミサ
 18日(日) 16:00 三重地区ラテンアメリカ人
 共同体 堅信式(鈴鹿)
 22日(木) 17:00 教区司祭追悼ミサ(河原町)

12月

- 2日(日) 11:00 滋賀地区ラテンアメリカ人
 共同体 堅信式(長浜)
 8日(土) 13:30 第13回 教区宣教司牧評議会
 24日(日) 21:00
 主の降誕深夜ミサ(河原町)
 25日(火) 10:00
 主の降誕ミサ(河原町)
- 

2012年 大塚司教の主要予定

1 月

2月

- | | | |
|-----------|-------|----------------------------|
| 1日水 | 10:00 | 故 パウロ古屋司教命日
衣笠墓参 |
| 4日土 | 9:30 | 洛星高等学校卒業式 |
| 5日日 | 13:00 | 高山右近シンポジウム
(玉造教会) |
| 6日月 | 11:15 | 聖家族幼稚園
聖堂訪問贊美式(河原町) |
| 12日日 | | 奈良地区北部ブロック
司教訪問(富雄) |
| 19日日 | 10:00 | 故 ヨセフ西野 猛生神父
1年祭(九条) |
| | 13:30 | 京都教区女子奉獻生活者の会
総会ミサ(河原町) |
| 21日火-23日木 | | 日韓青年交流 |
| | | 濟州教区青年 京都教区訪問 |
| 25日土 | 10:00 | 京都聖カタリナ高等学校
卒業式 |
| 26日日 | | 滋賀地区 湖西ブロック
司教訪問(唐崎) |
| 28日火 | 10:00 | ノートルダム女学院高等学校
卒業式 |
| | 18:00 | カトリックNCC 対話集会(東京) |

3月

- | | | |
|---------------|-------|-----------------------------------|
| 3日(土) | 10:00 | 長岡幼稚園感謝の祈り(河原町) |
| 4日(日) | 9:30 | 四旬節黙想会(大阪・高槻教会) |
| 5日(月) | 14:00 | (学法)京都学園・京都南学園
理事会 |
| 6日(火) | 14:00 | (学法)滋賀学園 理事会(大津) |
| 10日(土) | 10:00 | 京都ノートルダム女子大学
卒業式 |
| | 17:00 | 青年の集い準備会(津) |
| 11日(日) | 10:00 | 東日本大震災一周年
復興祈願ミサ(河原町) |
| 11日(日)-14日(水) | | 四旬節黙想会(長崎・中町教会) |
| 15日(木) | 10:00 | ノートルダム学院小学校 卒業式 |
| 16日(金) | 9:30 | 聖母学院小学校 卒業式 |
| 17日(土) | 9:30 | 聖母女学院短期大学 卒業式 |
| | 14:00 | マリスト会感謝のミサ(奈良) |
| 18日(日) | | 三重地区 北部ブロック
司教訪問(亀山) |
| 20日(火) | 11:00 | 柳本 昭神父 司祭叙階25周年
銀祝感謝ミサ(河原町) |
| 21日(水) | 14:00 | (社福)カトリック京都司教区
カリタス会 理事会 |
| 24日(土)-25日(日) | | 三重地区 南部ブロック
中高生黙想会(唐崎メルノールハウス) |
| 26日(月) | 15:00 | 教区保育者研修会 ミサ |
| 27日(火)-29日(木) | | 侍者合宿 |
| 29日(木) | 11:00 | 聖香油ミサ |

4 月

- 1日(日) 15:00 西舞鶴教会・英語ミサ
 5日(木) 19:00 主の晚餐(河原町)
 6日(金) 19:00 主の受難(河原町)
 7日(土) 19:00 復活徹夜祭(河原町)
 8日(日) 10:00 主の復活ミサ(河原町)



- 15日(日) 青谷教会 創立60周年感謝ミサ
22日(日) 御所教会 創立60周年感謝ミサ
29日(日) 10:00 京都教区 青年の集いin三重
30日(月) 10:30 右近こども祭りミサ(大和榛原)

大塚司教の

1月のスケジュール

Schedule of Bishop Otsuka



- 1日(日) 10:00 河原町教会・新年ミサ
 5日(木) 11:00 司祭・修道者・新年ミサ
 (河原町)
 8日(日) 9:00 女子カルメル修道会 ミサ
 (衣笠)
 11日(水) 15:00 中央協 予算審議会
 12日(木) 10:00 中央協 常任司教委員会
 15日(日) 15:00 桃山教会・スペイン語ミサ

1月のお知らせ

修道会

男子カルメル修道会(宇治修道院)

水曜黙想(松田 浩一師)

日 時: 11日(水) 10:00

参加費: 3,200円

社会人のための靈的同伴(松田 浩一師)

日 時: 13日(金) 20:00~14日(土)15:00

参加費: 5,500円

一般のための黙想(今泉 建師)

日 時: 28日(土) 17:00~29日(日)16:00

参加費: 6,500円

諸団体

京都カトリック混声合唱団

練習: 8日(日) 14:00/28日(日)18:15

- 16日(日) 9:30 修道会宣教フォーラム
 (大阪梅田教会)
 19日(木) 14:00 (社福)カトリック京都司教区
 カリタス会 理事会
 20日(金) 11:00 列聖列福特別委員会
 (大阪大司教館)
 22日(日) 14:00 草津教会・英語ミサ
 23日(月) 14:00 司教顧問会
 26日(木) 13:30 第5回「求道者に同伴する信徒」
 の養成講座
 29日(日) 15:00 日本二十六聖人殉教者
 頤彰ミサ(河原町)

コーラ・チェレステ(女声コーラス)

練習: 12日(木) / 26日(木)

聴覚障がい者の会

手話表現の学習会: 10日(火) 13:00

(聖書と典礼 他)カトリック会館 6階
 「一万匹の蠍運動」基金報告

累計 57,632,030円(11月14日現在)

心のともしび 番組案内

テレビ(衛星.CATV)スカイA スポーツプラス

毎週土曜日 朝 8:45

今井美沙子氏(ノンフィクション作家)

シリーズ「ふだん着の信仰」

ラジオ(KBS京都) 月~土 朝 5:15

1月のテーマ「心に笑顔を」

※ 2012年3月号の原稿締切り日は1月25日(水)
 です。

「京都教区サポートセンター」への献金のお願い

京都教区は、仙台教区への支援活動のために、教区本部内に「京都教区サポートセンター」を設置し、「京都教区サポートセンター」を通じて、管区プロジェクトについての情報を提供し、必要なボランティア等のご協力をお願いすることにいたします。

教区の皆様には、これからの大船渡での管区のプロジェクトにも物心両面でのご協力をいただきたく宜しくお願ひいたします。

この「京都教区サポートセンター」宛の支援金の送金は、毎月京都教区へご送金いただいている納付金などの用紙の空欄に「大船渡支援」と記入して、あわせてご送金いただければ幸いです。

以上、これからの大船渡での管区のプロジェクトにも物心両面でのご協力をいただきたいです。

担当: 清富